



YANMAR

News Release
報道各位

2017 年 10 月 10 日

ヤンマー株式会社

AI/IoT を活用した次世代施設園芸システムの 確立に向けたテストベッドの運用を開始



<テストベッド イメージ>

ヤンマー株式会社(本社:大阪市、社長:山岡健人)は、総務省による平成 28 年度テストベッド供用事業の採択を受け、次世代施設園芸システムの確立に向けたテストベッドを設置し、2017 年 10 月 10 日より運用を開始します。

日本では、農業人口の減少や就農者の高齢化による人手不足から、地域産業である農業の活性化が喫緊の課題となっています。当社はこれらの課題に対し、効率的で持続可能な農業を実現するため、ICTを活用した農業ソリューションの提供や技術開発に取り組んでいます。そしてこの度、新たな活動として、栽培や生産管理などにおいて AI/IoT の活用を実証する農的空間を整備したテストベッドを構築しました。

本テストベッドは、通信・IT 業界などの様々な企業が利用することで、農業 ICT 技術開発の加速や次世代施設園芸システムの確立、更には新しいビジネスモデルの創出を目指しています。先進的な農業ビジネスモデルを創出することで、地域社会における重要な産業のひとつである農業の発展と地域社会の維持・活性化に貢献してまいります。

■総務省／テストベッド供用事業概要

事業名：新技術開発施設供用事業 (IoT テストベッド供用事業)

事業主体：総務省、ヤンマー株式会社 中央研究所

名称：YANMAR IoT Smart Greenhouse

試験期間：2017年10月1日～2020年09月30日

試験場所：滋賀県米原市

ハウス面積：201 m²

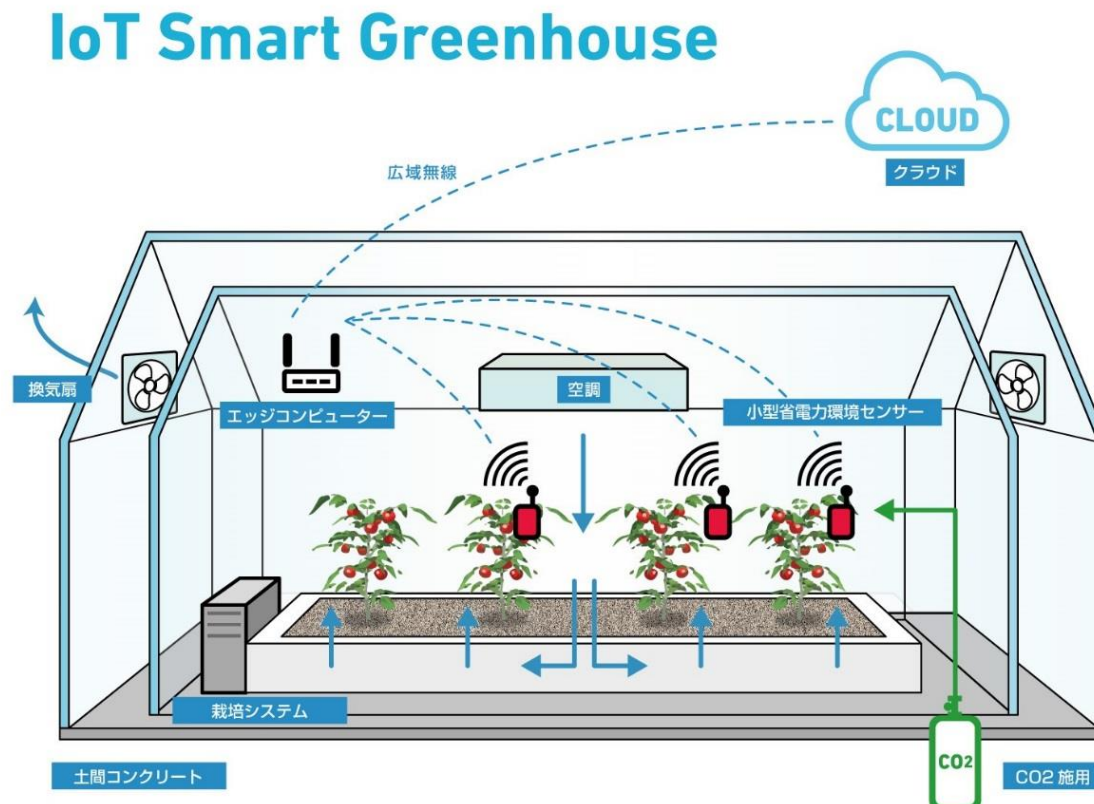
(ご参考)平成28年度 IoT テストベッド事業及び地域データセンター事業に係る助成金の交付決定

<https://www.nict.go.jp/press/2016/11/14-1.html>

■テストベッド概要

(1) AI/IoT を活用しやすい農的空間を整備したテストベッドを構築

本テストベッドは、消費者のニーズに合わせた栽培コントロールを目指した研究等に利用することができます。農的空間における温度・湿度などのセンシング技術とネットワークの信頼性検証や、遠隔制御して収集したデータを活用することで農作物の収穫時期・収穫量を予測します。また、将来的にはハウス毎の生育状況だけでなく、周辺の農作物の生育状況をクラウドで一元管理できる農業プラットフォームが構築されることが期待されます。



<テストベッドのシステムイメージ>

(2) 参画企業

ハウスを農的空間と考え、通信機器、データ分析、AI アルゴリズム、クラウドシステムなど、それぞれの業界で先進的な技術を持つ企業と協力し、農業分野において AI/IoT を活用していきます。



<テストベッドの運用開始時における参画企業>

(3) 本システムの活用と将来像

本テストベッドは今後、ICT の研究開発に取り組む企業の IoT デバイスやネットワークなどの開発・検証に活用されます。運用開始にあわせて、北川グループ、株式会社ベースワン、株式会社シーエスファーム、セカンドファクトリーグループ、ナルトベース、米原市など、さまざまな企業や自治体が利用していきます(2017 年 10 月現在)。

また、農業 ICT の普及を通じて、地域社会における重要な産業のひとつである農業の発展と、地域社会の維持・活性化に貢献します。将来的には食料生産の効率化や食の地産地消に加え、エネルギーの地産地消モデルの創出を目指します。

<ヤンマーについて>

1912 年に大阪で創業したヤンマーは、1933 年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功しました。以来、産業用ディーゼルエンジンを事業の柱とし、さまざまな市場へ商品・サービス・ノウハウを融合したトータルソリューションを提供する総合産業機械メーカーです。小型エンジン、大型エンジン、農業機械・農業施設、建設機械、エネルギーシステム、マリン、工作機械・コンポーネントの 7 事業を有し、グローバルにビジネスを展開しています。

「自然と共生し、食料生産とエネルギー変換の分野でお客様の課題を解決するとともに、未来へつながる社会とより豊かな暮らしへの貢献」をミッションステートメントに掲げ、世界の「都市」「大地」「海」の事業フィールドで、資源循環型社会“A SUSTAINABLE FUTURE”実現への貢献を目指しています。

詳しくは、ヤンマー株式会社ウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/> をご覧ください。

<注記>

ニュースリリースに記載されている内容は、記者発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

【報道関係者お問合せ先】

ヤンマー株式会社 ブランドコミュニケーション部 広報グループ

E-mail: koho@yanmar.com